

眼科

大鳥安正

大阪の中心に位置していることから、近畿圏における主要な基幹病院として病診連携・病病連携の重要性を認識し、紹介元と緊密に連絡を取るようしており、特に緑内障・網膜硝子体疾患においては多くの難治性疾患を受け入れ、最終病院として機能しています。各医員は白内障以外に専門分野を標榜しており、情報収集も怠らず、最新で質の高い医療を提供することを心がけています。また、厚生労働省の政策医療感覚器ネットワーク機関としても全国の多施設共同研究に参加しています。

平成 28 年 4 月から 29 年 3 月の眼科における総手術件数は総計 1,577 件でした。

白内障：白内障手術件数は最も多く、平成 28 年度の白内障単独手術件数は 968 件（1 泊入院 225 件）でした。入院は両眼 4 泊 5 日、片眼 3 泊 4 日、片眼 1 泊 2 日から選択可能です。白内障手術の待ち期間は平均 1 か月程度です。**緑内障：**原発開放隅角緑内障は薬物療法が第一選択ですが、薬物療法で眼圧下降が十分でない場合には外科的治療（線維柱帯切除術が主流、発達緑内障やステロイド緑内障には線維柱帯切開術を選択、平成 28 年度の緑内障手術件数は 256 件）を行っています。また、難治な血管新生緑内障に対しても積極的にアバスタン併用線維柱帯切除術を行っています。隅角検査のみならず超音波生体顕微鏡、前眼部光干渉断層計などを用いることで、閉塞隅角緑内障の診断・治療に役立てています。**網膜・硝子体手術：**増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、網膜剥離、黄斑部手術などを中心に積極的に行っています。平成 28 年度には硝子体手術 320 件、強膜内陥術 3 件が行われ、網膜剥離症例では症例に応じて初診当日入院・当日手術も行っています。硝子体手術は 25 ゲージシステムによる低侵襲硝子体手術を実施し良好な成績を得ています。手術加療だけでなく、加齢黄斑変性、網膜静脈分枝閉塞症や糖尿病黄斑浮腫などに対する抗 Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF) 抗体の硝子体内注射も積極的に行っています。**その他（眼形成・翼状片など）：**翼状片手術、眼瞼内反症手術など 30 件の手術が行われました。眼部悪性腫瘍は当院の形成外科と連携しております。**HIV/AIDS：**当院は HIV/AIDS 先端医療開発センターであるため、免疫・感染症内科との連携によりサイトメガロウイルス網膜炎などの AIDS 眼合併症の治療を多数行っています。**角膜：**角膜疾患としては、ドライアイの治療として、点眼治療以外にも涙点プラグ挿入、涙点閉鎖を行います。また、他の医療機関で難治性となった薬剤耐性菌感染症やアカントアメーバ角膜炎等の角膜感染症の治療に関しても薬剤部の協力を得て、自家調整点眼薬を処方することで良好な成績を得ています。

【2016 年度 研究発表業績】

A-1

大鳥安正：点眼アドヒアランスをあげるために大切なこと。「眼科ケア」メディカ出版、18 巻 9 号、P901-906、2016 年 9 月 15 日

大鳥安正：見えるわかる細隙灯顕微鏡、スリットを用いた前房・隅角の観察。Monthly Book 「OCULISTA」46 巻 1 号、P23-30、2017 年 1 月 15 日

大島安正：どこで手術に踏み切る？続発緑内障。「眼科グラフィック」メディカ出版、6巻1号、P73-79、2017年1月15日

A-2

大島安正、内藤知子、木内良明：熱血討論！緑内障道場：診断治療の一手ご指南(3)隅角検査のポイント。「臨床眼科」医学書院 70(4)、P444-450、2016年4月15日

A-3

北村成司、多田明日美、三浦聡子、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大島安正：EX-PRESS 併用濾過手術導入1年目と2年目での術後成績比較。「眼臨紀」9(7)：P568-572、2016年7月15日

横山洵子、三木篤也、臼井審一、松下賢治、西田幸二：緑内障眼の光干渉断層計パラメータと視野の相関。「眼臨紀」10(2)：P107-111、2017年2月15日

B-2

Tachibana E, Oie Y, Koh S, Soma T, Tsujikawa M, Kawasaki S, Maeda N, Nishida K: Pachymetry and Epithelium Mapping in Patients with Band-shaped Keratopathy Using Optical Coherence Tomography, The 5th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting、ソウル、平成28年12月9日-11日

B-3

大島安正：緑内障治療 update 濾過手術－EX-PRESS と Trabeculectomy－。第120回日本眼科学会総会サブスペシャリティーサンデー、仙台、平成28年4月10日

大島安正：眼底診断のすべて。第27回日本緑内障学会シンポジウム、横浜、平成28年9月18日

B-4

内堀裕昭、橘 依里、横山洵子、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大島安正：線維柱帯切除術後早期の脈絡膜滲出が術後成績に及ぼす影響。第27回日本緑内障学会、横浜、平成28年9月18日

大島安正、橘 依里、横山洵子、内堀裕昭、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子：術前眼圧別での線維柱帯切除術の術後成績の検討。第27回日本緑内障学会、横浜、平成28年9月18日

横山洵子、橘 依里、内堀裕昭、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大島安正：眼内レンズ偏位を伴う落屑緑内障の3症例。第70回日本臨床眼科学会、京都、平成28年11月4日

橘 依里、大家義則、高 静香、相馬剛至、辻川元一、川崎 諭、前田直之、西田幸二：帯状角膜変性におけるOCTによる角膜上皮厚及び角膜厚の解析。第70回日本臨床眼科学会、

京都、平成 28 年 11 月 5 日

山本拓広、橘 依里、横山洵子、内堀裕昭、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：
散瞳不良症例に対応した IOL 強膜内固定術 ～in vit 法～。第 55 回 日本網膜硝子体学会総会、
東京、平成 28 年 12 月 4 日

B-5

大鳥安正：診断と治療：悩みの相談室 Part2。アルコン WEB カンファ、大阪、平成 28 年 4 月
28 日

大鳥安正：構造と機能の変化を考慮した緑内障診療。三重眼科アカデミー2016、三重、平成 28
年 5 月 22 日

大鳥安正：ローテクとハイテクを用いた緑内障診断。第 8 回北信眼科講演会、長野、平成 28
年 7 月 30 日

大鳥安正：考える！緑内障診断。Kowa Web Conference、大阪、平成 29 年 2 月 9 日

B-6

内堀裕昭、橘 依里、横山洵子、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：
線維柱帯切除術後早期の脈絡膜滲出が術後成績に及ぼす影響。第 413 回大阪眼科集談会、大
阪、平成 28 年 8 月 6 日

山本拓広、橘 依里、横山洵子、内堀裕昭、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：
IOL 強膜内固定術 当院での工夫～in vit 法～。第 413 回大阪眼科集談会、大阪、平成 28 年 8
月 6 日

横山洵子、橘 依里、内堀裕昭、山本拓広、山田さつき、松田 理、數尾久美子、大鳥安正：
眼内レンズ位置異常を伴う落屑緑内障の 3 症例。第 241 回 OCC、大阪、平成 28 年 11 月 26 日

雲井美帆、三木篤也、臼井審一、松下賢治、西田幸二：光干渉断層計のセグメンテーション
不良に関する因子の検討。第 241 回 OCC、平成 28 年 11 月 26 日

雲井美帆、三木篤也、臼井審一、松下賢治、西田幸二：トリガーフィッシュの使用経験。第
415 回大阪眼科集談会、大阪、平成 28 年 12 月 10 日

B-8

數尾久美子：知っておきたい目の病気『白内障』。第 55 回おおさか健康セミナー、大阪、2016
年 7 月 16 日

大鳥安正：知っておきたい目の病気『緑内障』。第 55 回おおさか健康セミナー、大阪、2016
年 7 月 16 日

松田 理：知っておきたい目の病気『加齢黄斑変性』。第 55 回おおさか健康セミナー、大阪、2016 年 7 月 16 日

植木麻理、森 和彦、大鳥安正、金森章泰、狩野 廉：関西緑内障道場 再びー緑内障師範への道一。第 70 回日本臨床眼科学会インストラクションコース、京都、平成 28 年 11 月 3 日

大鳥安正：緑内障。富山大学医学部 3 回生学生講義、富山、2017 年 1 月 5 日

内堀裕昭：症例検討”悩ましい術後低眼圧”。第 4 回 New generation glaucoma conference、大阪、2017 年 2 月 4 日

橘 依里：緑内障点眼薬の薬理作用を整理整頓！第 5 回なにわ病診連携講演会、大阪、2017 年 2 月 17 日

大鳥安正：緑内障点眼薬の副作用を整理整頓！第 5 回なにわ病診連携講演会、大阪、2017 年 2 月 17 日